

令和6年4月1日
京都市立池田東小学校
校長 上原 菜穂子

令和6年度 学校教育方針

◆学校教育目標

「心豊かに、自ら学び 自ら考える子」の育成

*「心豊かに」

心の豊かさとは何によって育まれていくのでしょうか。言葉の捉え方は人それぞれだと思いますが、私は、それは心が震える体験と経験だと思うのです。何かにすごく感動したことは大人になっても覚えているでしょう。さらに、社会の中で、人と人とお互い違う考えを持ちながらも、ともに言葉を交わし認め合えることも、豊かな心と人間性を養うものであると考えます。それは、学校でも同様です。大人も子どもも「互いに認める」ことで自己有用感を高め、価値ある存在として主体的に豊かに生きてゆきたいものです。

*「自ら学び 自ら考える」

学び・考えることは、子どもたちが、学校で得ることのできる将来にわたって大事な力です。生涯、子どもたちが学び続け、主体的に自分の人生を生きていくためには、学ぶ・考える力と同時に何が必要なのでしょう。それは、自ら行動を起こす力だと思います。そのためには、様々な課題や目標を自分のものとし、多くの情報を正しく、より有効に活用していく力が必要になってきます。それらの力を子どもたちには、ぜひ身に着けてほしいと考えます。

◇本年度の重点

(1) 授業づくりを中心とした研究・研修

- ・子どもたちが互いに認め合い、学び合う授業を目指す
- ・子どもたちが課題を自分のものとして捉え、情報を活用しながら主体的に解決することを目指す
- ・授業公開を中心とした校内研究を進め、多くの授業を公開することで、教員の授業力の向上を目指す

(2) 日常的・積極的な生徒指導

- ・自己指導能力の育成と一人一人の子どもの自己有用感を高める取組を進める
- ・児童会を中心に、児童自らが自己指導能力を高める取組ができるよう支援する

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。

(3) 人権教育の取組の充実

- ・仲間を認める気持ちを育む取組を進める
- ・正しいことばと可能な合理的配慮が日常的に意識された学習環境を目指す

(4) 家庭学習の充実

- ・自主的な家庭学習を目指した取組を進める

(5) 学校の機能の充実

- ・「報告・連絡・相談」の日常化を徹底する

◇具体的な行動場面

あいさつ 授業 たてわり

あいさつ・・・あいさつ、認めることば、TPO に合わせたことば

授業・・・課題解決、伝え合い場面、振り返り

たてわり・・・責任感、あこがれ（見習い）

＊すべてを人権尊重の視点で考える

◇開かれた学校づくり

取組の見える化を図り、つながりを創造する

保護者・地域の方との関わり 保・幼・小・中の連携

地域資源（人、施設など）の再開発

学校運営協議会の充実